

ふじやまだより

第7号

発行

2003年

7月15日

本郷ふじやま公園

運営委員会



七夕祭り賑やかに

広報部会 相原 雅夫

7月5日の土曜日、七夕祭りが古民家で賑やかに行われました。

当日は心配された天気も朝から狙いすましたように晴れ上がって、家族連れや散歩がてらのご夫婦など400名の方がつぎつぎと来園。

古民家の庭には、何本もの大きな七夕飾りを柱にしたソーメン流しの竹が組まれていて、別の当日飾り付けの竹には子供たちが「勉強ができるようになりたい」など思い思いの願いを書いた飾りつけをしました。

11時からのメインイベントのソーメン流しでは、茹でたてのソーメンが流れてくると来園者はめんつゆを片手にツルツルと美味しそうに味わっていました。

古民家の中では、赤々と火が燃やされた囲炉裏を囲んでの談笑、“kotoグループさざなみ”の杉山雅八穂さん等による琴の演奏、“美芳会”の川崎芳子さんによる三味線の演奏のほか「栄少年少女合唱団」の合唱にはお客さんの子供の飛び入りがあったり、午後には織姫と彦星の紙芝居も上演されて七夕祭りは最高潮。中には、「自分は旭区からもう5回来たが、囲炉裏の火は毎日絶やさないことが大事」と教えてくれた方も。また「自分が子供の頃、故郷の家の梁を夜に青大将が這って行くのを見て、あれはネズミを捕ってくれるのだから殺してはいけないと父親に教わった。」と昔話をしてくれたり、あちこちで話の花が咲いていました。

とくに子供たちに人気があったのは竹馬で、男の子も女の子も奪い合うようにして乗っていて、お父さんも「子供の頃にはできたんだ」といいながら子供たちといっしょになって楽しそうでした。

初めての七夕祭りでしたが、まずは大成功とっていいでしょう。

花も野菜も 元気です

～ 鳳仙花はじけし音の軽かりし

雨部 ～

農芸部会 中村 洋子

ふじやま公園をお訪ねになられて、長屋門を入ったすぐ右側に「花壇」が、そして門を出て丘の中腹に「畑・農園」があるのにお気づきになりましたでしょうか。これが私たち農芸部会員の活動の場なのです。

花壇には、古い田舎のどこの庭先にも見られた、野趣に富んだ清楚な花々を、気負わず自然の形で植えてみました。古民家と相まって、懐かしい田舎の思い出を呼び起こすよすがになればと思っています。この時期、夏の花「鳳仙花・ホウセンカ」が皆様をお迎えしていることでしょう。

農園では、開園して初めての種まき・植え付けを、それもやや欲張りすぎたかなと思われるほどに……。このうちいくつかでも、ご来園の皆様にお味わっていただける機会があればと考えています。

きゅうり、トマトなど誰でも知っている野菜の他、変わった実のつけ方をする「落花生」、あまり見られなくなった「綿」・「藍」、最近話題の「ウコン」などもあります。ご来園の際には是非ご覧いただき、これらの野菜の生長過程(播種・開花・結実・収穫)に関心をお持ちいただければ、育てている部会員としては大変嬉しく思います。

花や野菜にも手作りの名前札がつけられました。様々な出合いを楽しみに思い描いています。梅雨明けも間近か、夏休みもすぐそこです。どうぞ緑溢れる園内をゆつくりとご散策ください。



ホウセンカ

囲炉裏文化について

いろり守の会 宮本 龍治

日本の囲炉裏は、そもそも物の煮炊きに始まり、火を絶やさないで置火を保存しました。冬場は暖をとり、夕餉を共にしながら一家団欒の場として、または近所・親戚の人や親しい友人との語らいの場として発展しました。夜なべなどに明かりの役目も果たして、いぶした煙で萱葺屋根を保護し永持ちさせるなど、いろいろな効果を生み出す、先人たちが考えた貴重な遺産です。末永く継承していきたいものです。

いろり守の会では会員募集中です。

入会希望者は下記の日時に公園母屋のいろり端までお出掛け下さい。詳細はその際説明させていただきます。

8月のいろりの焚き火の日 8月17日(日)、8月28日(木) 9:30~12:00

8月17日(日)には、いろり端の紙芝居も予定しています。

よこはま古民家めぐりに参加して

古民家歴史部会 木島 健司

横浜には六つの古民家公園があります。センター北「都筑民家園」・仲町台「せせらぎ公園古民家」・三ツ境「長屋門公園」・下飯田「天王森泉公園」・舞岡「舞岡公園」・鍛冶ヶ谷「本郷ふじやま公園」です。よこはま古民家連絡会の主催で、半年間で全部の公園を巡ると最後の公園で独自のお土産が受け取れる、お楽しみスタンプラリーを行っています。

この度、本郷ふじやま公園運営委員会登録会員の有志数組で、スタンプラリーに参加してまいりました。公園の概要、古民家のたたずまい、各種行事の状況、運営の苦労話などを見聞させていただき、それぞれ豊富な経験に基づき、随所に工夫の積み重ねが見られ、大変参考になりました。

当公園は今年二月に開園され経験も浅く、模索しながら運営をすすめております。市民の皆様の絶大なご支援とよこはま古民家連絡会等のご協力を得て、開かれた古民家公園として独自の特徴のある公園に育ててまいります。全会員はご期待に沿うべく燃えております。

本郷ふじやま公園で見られる昆虫

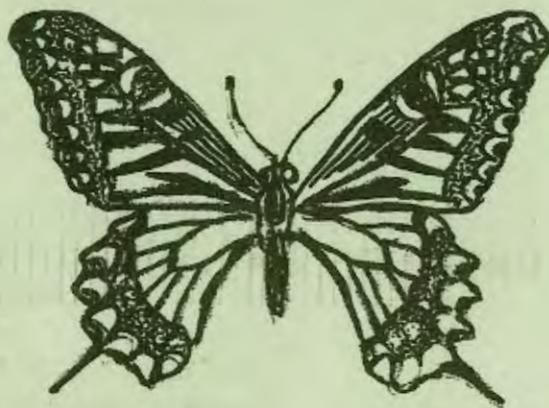
里山部会 宗森英夫

梅雨明けと同時に、本格的な夏です。春に卵から孵り、若葉を食べて育った幼虫たちが蛹になり、次々と羽化して成虫になる季節です。本郷ふじやま公園は9ヘクタールで、人間にとっては、それほど広い場所ではありませんが、虫たちにとってはとても広い世界で、いろいろな昆虫を見ることができます。

まず目に付くのは、ひらひらと飛んでいる蝶たちです。春になると同時に姿を現すモンシロチョウ、スジグロシロチョウ、キチョウやモンキチョウ、ツマキチョウがいます。4月中頃からはアゲハ、キアゲハ、アオスジアゲハが出てきます。5月になるとクロアゲハ、ジャコウアゲハ、モンキアゲハなどが現れます。シジミチョウやジャノメチョウも数種類ずつおります。キタテハ、アカタテハ、ルリタテハも見られます。

夏は蝉のシーズンですがニイニイゼミ、アブラゼミ、ミンミンゼミ、ツクツクホウシ、ヒグラシが鳴きます。

甲虫類もカブトムシ、クワガタ、カナブン、カミキリ、オサムシなどさまざまなものが見られます。その他、蜂類・トンボ類・ガ類・バッタ・キリギリス類・カマキリなど多くの種類が見られます。このように多くの昆虫が住んでいるのは、豊かな自然がある証ともいえます。



アゲハ

8,9月の催し物ご案内

◆夏休み竹細工

日時● 8月24日(日) 10:00~12:00 および 13:00~15:00

時間内はいつ来ても結構です。

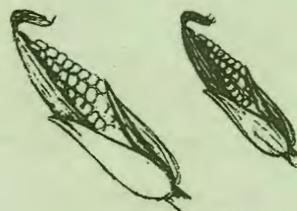
対象● 小学生(低学年は保護者同伴も可)

内容● 竹材を組み合わせて動物などを作ります。

参加費● 無料(材料・工具は主催者側で準備します)

申し込み● 不要、自由参加です。

場所● 公園内工作等



◆お月見の会

日時● 9月7日(日) 15:00~20:00 当日は特別に夜間開園いたします。

内容● 15:00~16:00 琴演奏 19:00~20:00 尺八演奏と月見

先着100名に抹茶サービス(茶菓代100円)

申し込み● 不要、自由参加です。

◆①竹炭アート教室

日時● 9月18日(木) 13:00~16:00

内容● 竹炭をアレンジして消臭効果のある鉢カバーを作ります。

材料費● 500円



◆②年賀状木版画教室・全4回

日時● 9~12月・毎月第1土曜日 9/6, 10/4, 11/1, 12/6

13:00~16:00

材料費● 250円(版木代)

◆③植物画教室・全6回

日時● 9~2月・毎月第3月曜日 9/15, 10/20, 11/17, 12/15, 1/19, 2/16

参加費● 無料(用具・材料費参加者持ち)

※①, ②, ③とも●定員12名(応募者多数時抽選)

●申し込み 往復ハガキに氏名、住所、電話番号、教室名を明記して

本郷ふじやま公園へ

●締め切り 8月27日(木)必着



古民家ゾーンご利用案内

■開館時間：午前9時~午後5時

■休館日：毎月第1水曜日(祝日の場合はその翌日)、年末年始

■入館料：無料

○本郷ふじやま公園運営委員会 〒247-0009 鍛冶ヶ谷1-20

電話896-0590 FAX896-0593

○緑政局中部公園緑地事務所

電話711-7802 FAX712-6260